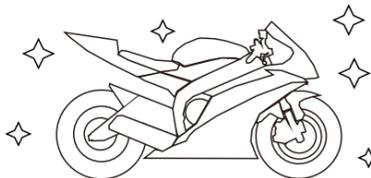
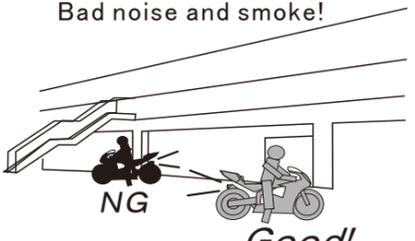
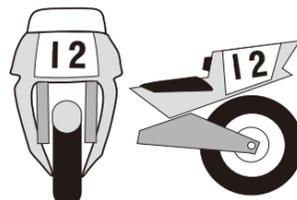
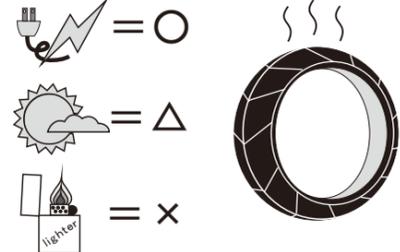
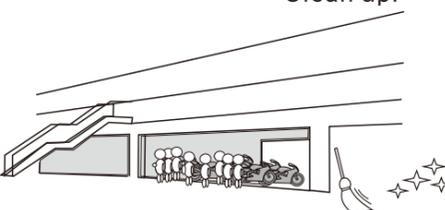
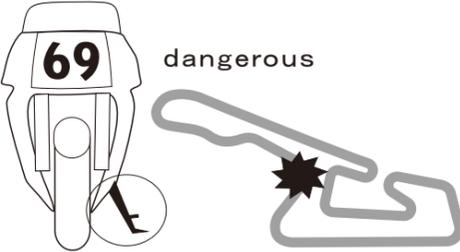
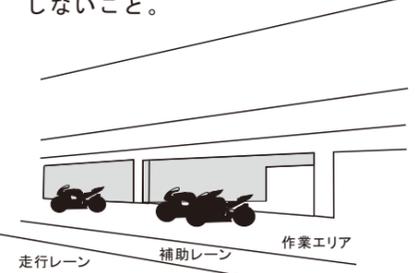
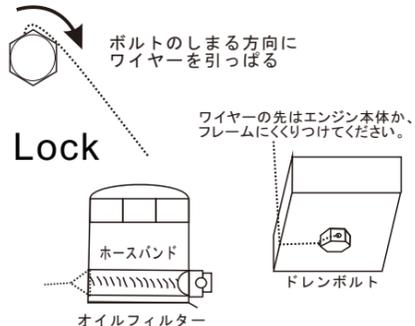
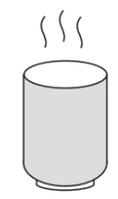


走行前 & パドック

<h3>車両整備のマナー</h3> <p>車両は事前に整備し、オイル漏れやオイルにじみなど無いよう美しく保つこと。古いのは仕方がないが、汚いのは論外だということを覚えておくこと。</p> <p>特にブレーキ関係の整備は、血液型A型になりきって、徹底的に行うこと。</p> <p>Perfect condition</p> 	<h3>動画撮影のマナー</h3> <p>カメラは走行中落下しないようワイヤーロック等すること。</p> <p>ヘルメットカメラは大きながにつながらるためカメラは車体に取り付けること。</p> <p>車体から大きく突き出る取付・撮影は迷惑行為なのでコースを貸切って単独で行うこと。</p> 	<h3>暖機運転のマナー</h3> <p>エンジンの暖機をする場合は、排気管の向きに注意し、ピットガレージ内に向けて青い煙を噴射したり、会話が出来ない程ふかし上げたりしないこと。</p> <p>回転数を上げる必要があるときは、ピットガレージから5m以上離れて行うこと。</p> <p>Bad noise and smoke!</p> 	<h3>ゼッケンの貼り付け</h3> <p>車両の3カ所にゼッケンを貼り付けて走行すること。字体は走行時に判別の容易な書体を使用すること。</p>  <p>Good よい例 = 1234567890</p> <p>NG 悪い例 = 1234567890</p>
<h3>パドックのマナー</h3> <p>パドック内の移動は20km/h以下で。死角の多いパドックでは、接触事故が頻繁に起きます。十分な見張りりと、十分なスピードコントロールを怠らないこと。</p> <p>パドック内</p> <p>Accident!</p>  <p>また、Bパドック内で駐車する場合は、周りの人が一酸化炭素中毒にならないようエンジンを停止すること。</p> <p>Carbon Monoxide</p> <p>CO STOP YOUR ENGINE!</p> 	<h3>冬場のマナー</h3> <p>走行開始時にピットレーンで転倒している人を見て、「寒い=ゴムは硬い」の公式を理解すること。タイヤを暖めるときはウォーマーを使用し、忘れたときも太陽ウォーマーを有効に活用すること。</p> 	<h3>ピットガレージのマナー</h3> <p>ピット内は清潔を保ち、走行に関係のない備品を広げて専有してしまわないこと。参加者全員がピットガレージを利用できるように譲り合い使用すること。また、使用後のピットガレージ内は、次に使用する人のためにも清掃しておく事。</p> <p>Clean up!</p> 	<h3>サイドスタンドのロック</h3> <p>サイドスタンドは戻した状態でゴムバンド等で留めておくこと。出来ることなら取り外し、コースイン直後・2コーナーでの転倒を未然に防ぐこと。</p> <p>dangerous</p> 
<h3>自己責任</h3> <p>充分安全に配慮したサーキットでも、必ず事故は起こりますので事故が起きたときには自己責任で対処しましょう。</p> <p>サーキットでの走行およびレースは各自の自己責任の上で成り立っています。起きてしまった事故を他人のせいにして賠償請求などをしないこと。</p> <p>Self responsibility</p> 	<h3>ルールを守ろう</h3> <p>サーキット走行、レースの参加にあたっては必ずルールを確認し、走行に望むこと。ルール・規則を読まずに、「知らない」「読んでいない」と言って傍若無人に振る舞わないこと。他人を危険にさらしたり、自分だけ卑怯な事をしているのと同じ事だと言うことを忘れないこと。</p> <p>Regulation</p> 	<h3>ピットレーンのマナー</h3> <p>該当走行時間外でのピットレーン使用は禁止となっているので、他クラスの走行時間中に作業エリアで撮影会をしたり、ピットレーンに車両を並べたりしないこと。</p>  <p>ピットレーン(作業エリア・走行レーン)は該当走行枠の車両のみ使用出来ます。</p>	<h3>ワイヤーロック</h3> <p>2S走行時はオイルドレンボルトにワイヤーロックをしておくこと。また、使用済みのステンレスワイヤーをまき散らし、ピット内にトラップを仕掛けないこと。</p> <p>Lock</p> 

O I R C 2輪会員の皆様へ
2輪走行時注意点のご案内

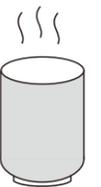
「スポーツ走行のお作法の壺」



2021年5月
岡山国際サーキット
O I R C 事務局

※各走行前には再度車両チェックを行い、トラブルの無いように努めてください。

「スポーツ走行のお作法の式」

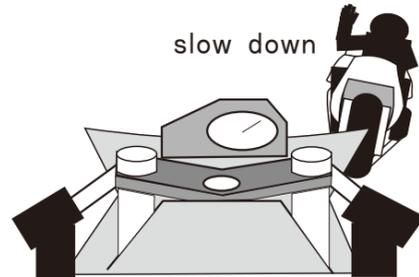


2021年 5月
岡山国際サーキット
O I R C 事 務 局

走行中

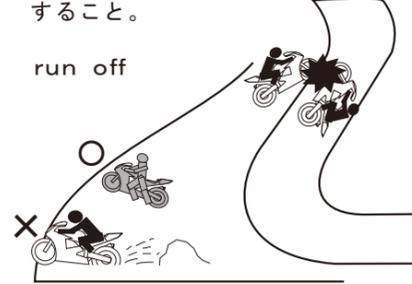
ペースダウンのマナー

レーシングスピードからペースダウンする場合は、①上体を起こす、②手で後方に合図、③右端に寄る、④アクセルを戻す。の順で行うこと。順番を間違えてアクセルを先に戻してしまわないこと。



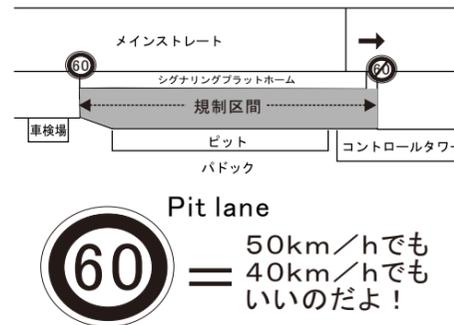
コースアウトのマナー

コースアウトして砂利の部分で停止した場合は、速やかに降車し、押しながら脱出すること。再スタートは、後方確認をし邪魔にならない様に行うこと。また、アンダーカウルの砂利はたたき落としてからコースインすること。



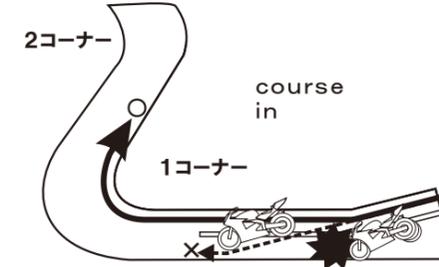
ピットレーンのマナー①

食事制限は破っても、速度制限は守るよう慎重に走行すること。あまりの遅さにイライラしてピットレーンでウイリーしないこと。



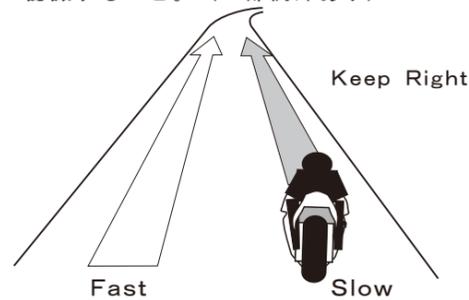
コースインのマナー

1コーナー立ち上がりまではコースの右端を走行し、急激な走行ラインの変更など行なわないこと。コース上後方から接近している車両にジャックナイフ（ストッピー）を強要しないこと。



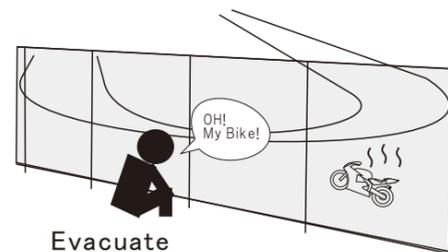
ナラシ&スロー走行のマナー

ナラシ&スロー走行時は上体を起こし、右端を走行すること。右がわからない場合は、「アクセル&ブレーキ=右」で認識すること。（一部例外あり）



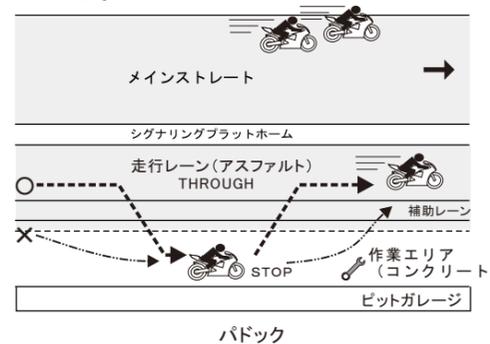
転倒後のマナー

不覚にも・・・転倒してしまった場合は、素早く状況判断し、再スタート出来ない場合は金網の外側から見学すること。動かない愛機の傍にとどまり、赤旗原因にならないこと。



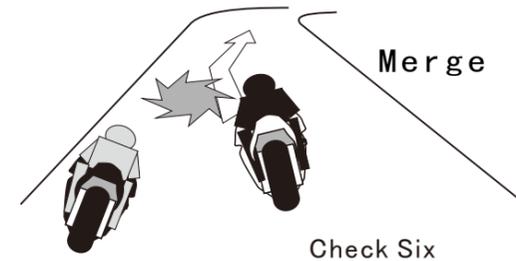
ピットレーンのマナー②

ピットレーンは走行レーン（通過路）と作業エリア（停止区域）に分かれていますので、緊急会議や緊急オペを行う場合は、作業エリアでつましく行うこと。



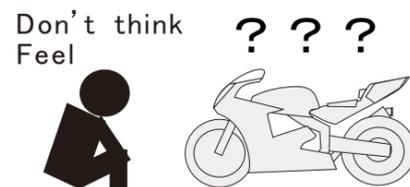
後方確認のマナー

レコードラインに合流する際は、必ず振り向いて後方確認。安全を確認してから合流すること。振り返れば奴がいることを肝に銘じておくこと。



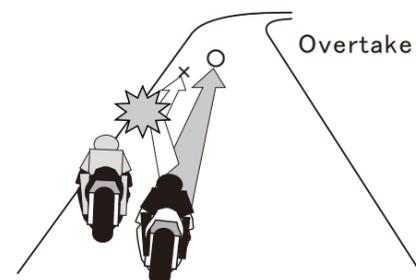
自制心のマナー

なんだかヤバイ感じがする。液体がにじんできている。ブレーキフィーリングが変わった。いつもとエンジン音が違う。など異変を感じ取ったら、自分の第6感を信じ勇気ある撤退を選択すること。そのまま走り続けて事故原因にならないこと。



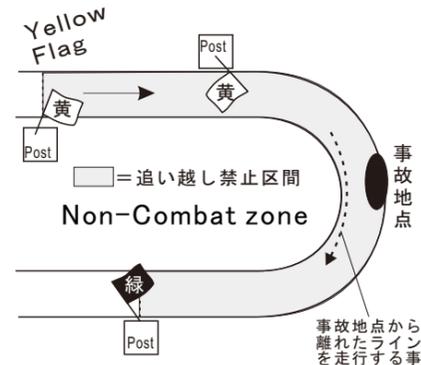
オーバーテイクのマナー

オーバーテイクする場合は、ラインがクロスしないよう注意すること。抜いた直後にラインを塞いでしまわないこと。また、ラインが1本しかないモスやマイクナイトでは併走しないこと。



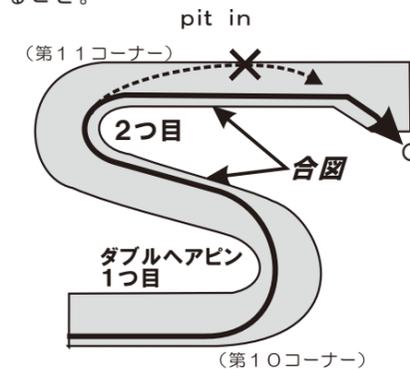
黄旗区間でのマナー

黄旗区間ではジェントルにスローダウンし、追い越し禁止で走行すること。決してレーシングスピードで現場を通過しないこと。



ピットインのマナー

ダブルヘアピン1つ目出口より右端を走行しピットインすること。また、2カ所で後方のライダーに手や足などで合図をし、無用な争いは避けること。



※各走行前には再度車両チェックを行い、トラブルの無いように努めてください。